

令和7年度こもれびと風おおい認定こども園 第1回保護者アンケート結果

日頃から当園の運営・保育・教育活動において保護者の皆様の温かいご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。4月に実施いたしました当園の給食についてアンケート調査の結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

目的：お子さん「食」に関する調査・当園の運営に係る食に対する質向上に向けて参考とするため

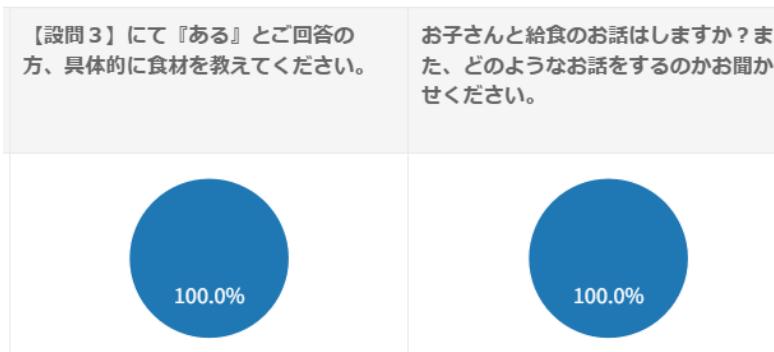
回答方法：コドモン保護者アプリで回答

対象者：こもれびと風おおい認定こども園保護者

回答者数：82人

回答数：68人（82.9%）

回答数またはある ない



アンケートにご回答いただきありがとうございました。

保護者の皆様からいただいた声は、全て大切に読ませていただきました。

【当園で好きなメニュー（献立）はなんですか？】

■アンケートで得票数の多い順に並べています。

 **麺類** ・ラーメン・カレー豆乳うどん・ジャージャー麺、ミートソース等

 **肉料理** ・唐揚げ・油淋鶏・鶏肉の照り焼き丼・ハンバーグ等

 **魚料理** ・魚の唐揚げ・魚のトマトソース乗せ等

 **スープ** ・コーンスープ・味噌汁・かぼちゃのスープ等

 **その他**

・揚げ餃子・ナスとちりめんジャコの揚げ浸し・ブロッコリーとツナのマヨ和え

・納豆ほうれん草・五目ひじき・行事食・全部好き！

【家庭で好きなメニュー（献立）はなんですか？】

・ハンバーグ・カレー・麺類・味噌汁・煮物・唐揚げ・麻婆豆腐

・コーンスープ・納豆ごはん・生姜焼き・きんぴら・餃子・ミートソース

・焼きそば・マカロニサラダ・オムライス・麻婆春雨・オムレツ・シチュー

・シラス丼・チャーハン・肉じゃが・茶碗蒸し・角煮・そぼろ丼・焼き魚

・ピザなど

【当園の給食をたべてから食べられるようになった食材はありますか。】

・肉・ひじき・なす・ブロッコリー・キャベツ・トマト・ほうれん草・小松菜

・にんじん・ピーマン・とうもろこし・豆腐・かぼちゃ・麺類

・とにかく野菜全般

【お子さんと給食のお話はしますか？どのような話ですか？】

・毎日帰りの車の中で「今日の給食なんだった？」「全部食べた？」と聞いています。

・食べれたかどうか、好きな食べ物はなんだったか聞いています。

・元々食ムラがあるので食べることができたか聞きます。

・「今日全部食べたよ 少し残しちゃったけど美味しかった」など話してくれます。

・おかげの説明をしてくれたり中に何が入っていてどのような味で野菜がこんな感じだったよなど教えてくれます。

・今日の給食やおやつはどのようなものだったかどんな味で食べてみてどうだったか話をよくします。

・毎日献立（ディスプレイ）を見て帰ります。

・お迎えの時に今日は一人で頑張って食べていましたと話を聞くので「今日何を食べたの？」と聞くとあれこれ食べたものを話してくれます。

・今日なにたべた？から始まり毎日美味しかったと教えてくれます。

【お子さんとの可愛いエピソード】

- ・好きなメニューは家でも食べたいというので作っていますが、食に興味が無かったので初めて自分から食べたいといってくれた時の驚きと喜びを今でも覚えています。
 - ・スーパーで食材の名前を覚え、「こども園で見たからこれ買う！」と食べもののレパートリーが増えました！
 - ・毎日帰り道に「かぼちゃんにあんこ乗ってた」「ゼリーにつぶつぶ入っていた」等細かい献立と完食したことを嬉しそうに話してくれます。基本的に食に対する興味が薄い我が子がこんなに話をするということは本当に美味しいんだろうなといつも感じています。
 - ・家で初見のものをしてとりあえず一口食べるようになってくれました。
 - ・好きなものが出ると「美味しかった」と報告してくれて、苦手なもの出ると「少しだけ食べれた」と報告してくれます。
 - ・「こども園のごはん、おいしくておかわりしちゃうんだよねー」といつも話してくれます。
 - ・まだはっきりとお話ができないですが、帰りに給食の見本を必ず見て「おいしいの」と教えてくれます。連絡帳を見ると・・おかわりの記載がたくさんあります！
 - ・まだ会話がそんなにできないが、給食おいしい？と聞くと「うん」と答えてくれます。
 - ・給食の見本を見て、苦手だった野菜が食べられたら「これもう大好きな野菜」と食べられて自信がついた様子で教えてくれます。
 - ・まだ会話ができない月齢ですが、給食のおかげで食の楽しさを知ることができ、お家でも「ごはんだよー」と言うと「あ！」とご飯を指さしてにこにこ嬉しそうにしながら座って食べてくれます。
 - ・まだ話さないので分かりませんが、先生からいつも「いっぱい食べました！」「おかわりしました！」「自分の食べた後に隣の子のも食べようとしていました笑」などエピソードを教えてもらうので給食が大好きなんだと思います！
 - ・家では絶対に食べない野菜も食べれるらしいので褒めています。
 - ・今日のおやつはこういうおやつで等、手で大きさを表したり沢山教えてくれるようになりました。
 - ・何で家では食べない野菜や肉を給食では食べれたのか話したりしています。
-

保護者の皆様へ ~給食課より~

給食課のアンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。
給食アンケートを通じて、改めて子どもたちにとって「食べること」がいかに大切なことであり、多くの経験の場の一つになっているかを再確認することができました。
今回のアンケートでは園での好きなメニュー、給食を通じて食べられるようになった食材、そして子どもたちと給食についての会話や可愛らしいエピソードについてたくさんの声を寄せいただきました。

まずは、こども園でも家庭でも人気メニューについては予想通りと言いますか、やはり「ハンバーグ」「カレー」「唐揚げ」「麺類」などごちそう四天王が上位に名を連ねていました。
子どもたちにとって不動の愛されメニューがある中で「納豆和え」「煮びたし」など和食系も登場していて、バリエーションに富んだ食事が園と家庭それぞれに提供されている様子がうかがえました。

当園の給食を通じて食べられるようになった食材として挙げられたのは、これまた王道の「ピーマン」「なす」などの野菜類。
「とにかく野菜全般」との回答も多くありましたが、給食を通じて苦手だったものや食べることができなかったものが食べられるようになったことは何よりも嬉しい結果でした。

保護者から寄せられたエピソードはどれも心温まるものばかりで、毎日帰りの車の中で「今日の給食どうだった?」「〇〇食べて美味しかった!」など家族の会話が給食から“ということも嬉しいですし、子どもから「おかげには〇〇が入っていて、こんな味だった」「この味が好き」などまるでグルメリポーターのように給食の味や形状を報告してくれている様子も目に浮かびました。

また、月齢の小さな子どもたちも玄関先に掲示している給食のサンプルへ降園時に必ず立ち寄って保護者に指先をして美味しかったアピールをしている場面が日々見受けられます。その時に「美味しかったんだねー」「もぐもぐねー」と親子の会話がとても素敵で、小さな子どもたちからも食べることが好きという気持ちがしっかり伝わってきてています。

ある保護者が「好きなものがあると『美味しかった!』と報告してくれて苦手なものがあった時には『少しだけ食べられた』とあるように、子どもたちが“全部食べられたかどうか”だけでなく“どう向き合えたか”的会話のやりとりがあることも給食課として嬉しいメッセージでもありました。

給食を通じて「子どもの食への意識が変わってきた」「食に対して前向きになった」という率直な声は、私たち給食課職員にとって大きな励みになりますし、毎日の献立や食材の選定、どう工夫したら子どもたちが美味しい!と思って食べてくれるか等、健康・発育・栄養面と試行錯誤している毎日ですが、このような声を聴くことで「こども園の給食がちゃんと子どもたちに届いているんだ」と改めて振り返ることもできました。

給食はただお腹を満たすだけの時間でも苦手な食材を克服しなければならない時間でもありません。友だちと一緒に食べたり、おかわりをしてみたり、時には「苦手だけど一口食べてみる」「食べたら美味しいに気づいた」など日々の積み重ねがやがて「食べることが好き」という気持ちに繋がっていくことをだと思います。

これからも子どもたち一人ひとりの「おいしい」「たのしい」を大切にしながら保護者の皆さんと食の時間をより豊かにしていきたいと思っています。